

兵庫県加古川市 女性防火クラブ連合会

兵庫県加古川市女性防火クラブ連合会
会長 岸本 正子



住宅用火災警報器の 普及啓発活動に力を入れています

加古川市は兵庫県の南部に位置する人口約26万人の都市で、加古川市女性防火クラブ連合会は、昭和54年に発足、6地区、クラブ員89名で活動しています。

主な活動内容は、消防教室における火災や自然災害等の学習、家庭でできる応急処置方法の習得、防災施設の見学体験研修であり、消防出初め式、防災フェスタなどの消防本部主催のイベントへの参加や商業施設での住宅用火災警報器の設置推進キャンペーンも毎年行っています。

活動の締めくくりとして開催される研修大会では、クラブ員に修了証を交付するとともに、有識者による記念講演（令和5年度は名古屋大学名誉教授の福和伸夫氏）を開催して学びを深めています。

加古川市女性防火クラブ連合会は、今後も様々な活動を通して地域に貢献し、防火防災意識の高揚を図ってまいります。



愛媛県高浜地区 自主防災連合会

愛媛県松山市高浜地区自主防災連合会
会長 蔭原 政徳



高浜地区自主防災連合会は、平成30年7月豪雨災害時に、あらかじめ作成した防災マップをもとに危険箇所の見回りを行い、土砂災害の発生危険のある区域の住民宅を戸別に訪問し、早めの避難を促したことで、被害を最小限に抑えました。

当連合会は、毎年度先進的なテーマで防災訓練や研修会も行っています。令和2年度には「避難行動要支援者の災害時支援」をテーマに訓練を行いました。地区独自で作成している要支援者名簿とマップをもとに、連合会のメンバーをはじめ、民生委員、消防団員などで実際に要支援者宅を回り、安否確認に必要な時間を計測しました。また要支援者役を避難所まで搬送する訓練も行いました。

令和3年度には「車中泊」をテーマに、防災士の車を使ってマットなどを敷き、どうすれば災害関連死を防ぎ、快適に過ごせるか研修を行

いました。

さらに、毎年小学校で防災まち歩きとマップ作りの授業に協力し、若い世代の防災意識を高めています。

これらの防災活動では「顔の見える関係づくり」を大切にしています。消防団や女性防火クラブ、小中学校や地元大学、行政など、様々な団体と連携し、地域ぐるみで災害に強いまちづくりを進めています。

